

コース名		科目名			対象学年		
臨床医学		周術期管理			4		
開講学期		科目責任者		副責任者			
1 学期		戸田 雄一郎		佐藤 健治, 大橋 一郎			
目的							
周術期管理医学は、痛みとともに手術の侵襲や患者の状態が生体に及ぼす反応を理解し、それらの侵襲から生体を守るという視点に基づく領域である。周術期管理講義では、安全にかつ安心して快適な環境で患者が手術に臨むことができる様に、医学的な立場から支持する。さらに、それを多職種連携により実践するために必要な知識を理解し、臨床実習につなげることを目的とする。							
授業到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 麻酔前の患者、麻酔後の患者、また麻酔中の意識がない患者に対して礼節をもって対応できる。 2. 周術期管理が、医師のみでなく多職種により安全に行われていることを理解し、メディカルスタッフとの良好なコミュニケーションが取れる。 3. 麻酔の作用と身体への影響を理解できる。 4. 麻酔に用いられる薬剤の薬理作用を理解し、説明できる。 5. 麻酔の基本的な手技である気道確保、静脈ライン確保、などについて理解する。 6. 循環呼吸生理を理解し、麻酔が呼吸・循環に及ぼす影響について説明できる。 7. TIVA、硬膜外麻酔、末梢神経ブロックなど、麻酔の種類を理解する。 8. 術前の全身状態の評価を適切に行える。 9. 術後管理、特に集中治療の重要性を認識する。 10. 術後疼痛管理および慢性痛の治療（ペインクリニック）について理解する。 							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	4/ 4	木	4	講義	戸田	麻酔	麻酔科学概説、手術侵襲と生体防御反応
2	4/ 9	火	6	講義	佐藤健	麻酔	術前評価、術中モニタリング、ライン確保
3	4/17	水	1	講義	前島	麻酔	全身麻酔（吸入、静脈）、筋弛緩薬
4	4/25	木	6	講義	大橋一	麻酔	オピオイド、術後疼痛管理
5	5/ 2	木	3	講義	落合	麻酔	脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、末梢神経ブロック
6	5/ 2	木	4	講義	林真	麻酔	循環管理、体液、輸液管理
7	5/ 9	木	4	講義	櫻井	麻酔	気道管理、呼吸管理
8	5/15	水	5	講義	谷野	麻酔	体温管理、感染対策
9	5/29	水	5	講義	吉田悠	麻酔	開腹手術、腹腔鏡手術の麻酔
10	5/29	水	6	講義	川口	麻酔	心臓血管外科手術の麻酔
11	6/12	水	3	講義	池本	麻酔	呼吸器外科の麻酔
12	6/12	水	4	講義	日根野谷	麻酔	脳神経外科麻酔、脊椎手術麻酔（含 特殊体位）
13	6/19	水	3	講義	戸田	麻酔	産科麻酔、無痛分娩、小児麻酔
14	6/19	水	4	講義	黒田	麻酔	集中治療
15	6/24	月	4	講義	作田	麻酔	慢性痛、緩和医療、ペインクリニック
評価方法							
[期末試験]100%（各担当教員が出題する。）							
[評価方法]多肢選択試験							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて							
理解度が低い場合はレポートを課し、それを基に面談することがある。							

教科書
ISBN-9784260030304, 標準麻酔科学 (標準医学シリーズ), 古家 仁 (監修), 医学書院, 2018 年 ISBN-9784880039107, 痛みの集学的診療: 痛みの教育コアカリキュラム, 日本疼痛学会痛みの教育コアカリキュラム編集委員会, 真興交易 (株) 医書出版部, 2016 年
参考書
ISBN-9780323596046, Miller's Anesthesia, 9th ed Edition, M.A.Gropper, L.I.Eriksson, L.A.Fleisher, et al (eds.), ELSEVIER, 2019 年 ISBN-9784990526290, 周術期管理チームテキスト (第 4 版), 日本麻酔科学会・周術期管理チーム委員会 (編集), 日本麻酔科学会, 2020 年 ISBN-9784784962136, 麻酔への知的アプローチ 第 11 版, 稲田英一著, 日本医事新報社, 2020
準備学習 (予習・復習等)
該当する内容の教科書・参考書に目を通しておくこと。スライド資料を講義前後に見て、1 時間程度の学習をすること。
講義についての注意事項
プリントは用意しない。資料はウェブサイトアップロードしているので各自ダウンロードすること。
昨年度からの変更点・改善項目
(特になし)
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
この科目は、主としてコンピテンスの「Ⅲ. 医学と関連領域の知識」において特に 3 つのコンピテンシー、①人体各器官の正常な構造と機能を説明することができる、②全身におよぶ生理的変化や構造の異常を病因や病態と合わせて説明することができる、③病態から臨床症状、診断方法や治療方法を説明することができる、の達成に向けて設定されている。また、臨床医学、特に外科系治療学の理解と合わせて本科目の履修が必須である。この後に学ぶ臨床実習履修のために必要な学問である。
ナンバリング
DLPM410